

研修感想コメント



境一中3年 宇都木 彩音

『中国に行く前はそんなに良いイメージではなかったのですが、行ってみたら面白い人がいっぱいいて、楽しかったです。』



境一中3年 落合 唯

『初めての飛行機、初めての海外で、上海の歴史や文化等多くのことを学べて、すごく良い経験になりました。』



境一中3年 菊池 ナナミ

『私は初めての海外でしたが、イメージしていた中国と違って、中国の良い所も知れたので良かったです。』



境一中3年 関根 楓

『中国に行くと、中国の良い所や悪い所を見て、改めて日本の良さも知れたので良かったです。』



境二中3年 荒井 奏未

『上海では大学生と交流出来て、日本と中国の違いについて色々知れたので良かったです。』



境二中3年 稲垣 レイラ

『上海では今まで体験できなかった大切なことを色々体験できて良かったです。』



境二中3年 吉岡 祐海

『知らないことが多かったのですが、上海で色々知れて良かったです。』



▲上海にて東華大学日本語学科の生徒の皆さんとの記念撮影



▲リニアモーターカーの前で記念撮影



▲交流会の様子

世界を **学** び
国際感覚を **育** てる

一中・二中学生徒7名が上海で研修

現地大学生と交流会

8月17日から20日の4日間、一般社団法人境青年会議所（石川栄理事長）主催の上海研修事業が行われました。

この事業は青少年育成の一環として、境町の中学生を対象に国際感覚、国際理解を養うことを目的に行われ、境一中から宇都木彩音さん（3年）、落合唯さん（3年）、菊池ナナミさん（3年）、関根楓さん（3年）、境二中から稲垣レイラさん（3年）、荒井奏未さん（3年）、吉岡祐海さん（3年）の合計7名が参加しました。

現地では、茨城県上海事務所の方による現地情勢の説明や、東華大学日本語学科の生徒との交流会が行われる等、大変有意義な研修となりました。

野口恭加さんがフィリピンで研修

全国から10名の学生が参加

8月24日から8月27日の4日間、公益社団法人日本青年会議所（柴田剛介会長）主催のフィリピン研修事業が行われ、境町から野口恭加さん（下妻第一高校1年）が参加しました。この研修は全国から10名の高校生以上の学生を選抜し、現地の実情を理解することで、世界の中の日本を認識し、国際社会と関わる意識を高めることを目的に、スモークマウンテン（フィリピンのスラム街）や現地大学の視察、ホームステイ等が行われました。

研修感想コメント



下妻第一高校1年 野口 恭加

『私はフィリピンを実際に訪れて、貧困を身近で見ただけで、彼らのような人々を助けたい、と強く思うようになりました。教科書やテレビの中の世界と、現実に踏み入れる世界は、感じ方が全く違います。私達は皆同じ地球で共に生きているということを感じたために、まず実際に現地を訪れ、見て感じる事が大切であると私は考えます。また実際に海外に行けなくても、募金や寄付をしたり、食事の際に食べ残してしまったり、例え小さなこと、小さな気持ちでも大切だと思います。』



▲現地の子どもたちとの交流の様子